



外国人技能実習制度の“今”を伝える

iBridge

アイブリッジ通信



技能実習導入を
ご希望・ご検討の
法人様は
右記、担当まで
お問い合わせください。



アイブリッジ協同組合では、結核対策を重要課題と考え、内定直後は勿論のこと、日本への入国前にも、実習生が母国で行う胸部X線検査に加え、公益財団法人結核予防会の協力のもとX線画像の再読影を行っています。

結核予防会は、国民の疾病予防と健康増進に寄与するとともに、結核研究所を中心に世界的課題である途上国の結核対策に国際的に貢献することを目的にした組織です。所管は、当組合の代表理事が局長を担っていた厚生労働省健康局です。

実習生の健康は勿論のこと、病院の患者様、施設の利用者様、職員様にも安心していただけるよう取り組んでいます。

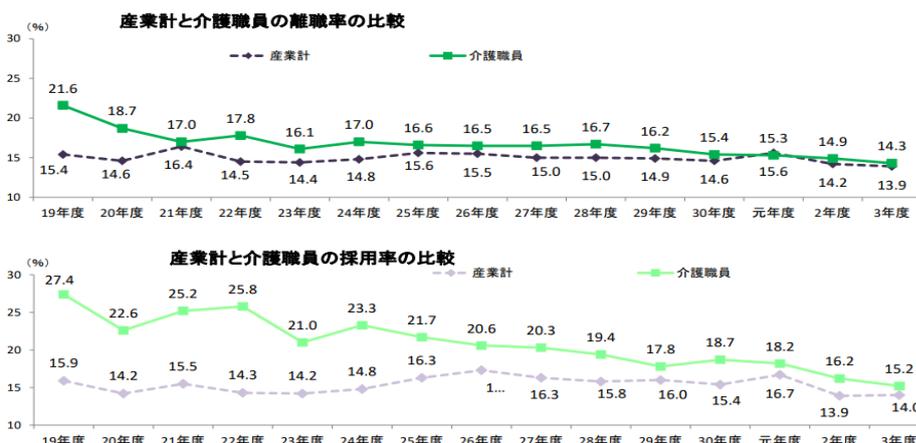
育成・就労制度(仮称)の開始にあたり、今まで以上に定着率を上げることが重要な課題となります。今回は、介護職の離職の状況と、定着に役立つ対策についてお話しします。

全産業と比較して介護職員離職率は下降気味ですが、一方で採用率の下降も激しく、有効求人倍率も全体平均と比べて厳しい状況で推移しています。



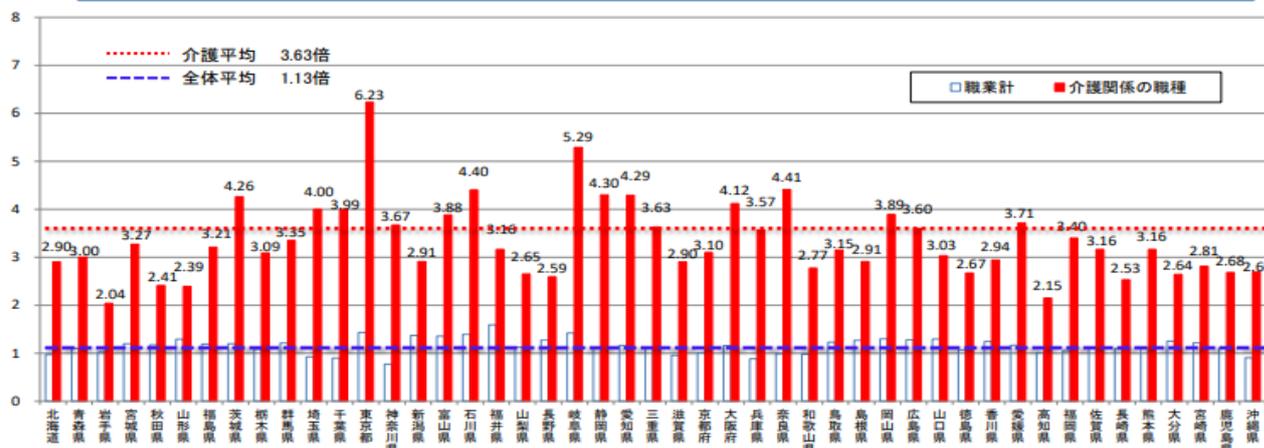
離職率・採用率の状況

○ 介護職員の離職率は低下傾向にある。



都道府県別有効求人倍率(令和5年4月)と地域別の高齢化の状況

○ 介護分野の有効求人倍率は、地域ごとに大きな差異があり、地域によって高齢化の状況等も異なる。



75歳以上人口は、都市部では急速に増加し、もともと高齢者人口の多い地方でも緩やかに増加する。各地域の高齢化の状況は異なるため、各地域の特性に応じた対応が必要。

※都道府県名順の()内の数字は倍率の順位

	埼玉県(1)	千葉県(2)	神奈川県(3)	愛知県(4)	大阪府(5)	東京都(11)	鹿児島県(45)	秋田県(46)	山形県(47)	全国
2015年	77.3万人	70.7万人	99.3万人	80.8万人	105.0万人	146.9万人	26.5万人	18.9万人	19.0万人	1632.2万人
<>は割合	<10.6%>	<11.4%>	<10.9%>	<10.8%>	<11.9%>	<10.9%>	<16.1%>	<18.4%>	<16.9%>	<12.8%>
2025年	120.9万人	107.2万人	146.7万人	116.9万人	150.7万人	194.6万人	29.5万人	20.9万人	21.0万人	2180.0万人
<>は割合	<16.8%>	<17.5%>	<16.2%>	<15.7%>	<17.7%>	<14.1%>	<19.5%>	<23.6%>	<20.6%>	<17.8%>
()は倍率	(1.56倍)	(1.52倍)	(1.48倍)	(1.45倍)	(1.44倍)	(1.33倍)	(1.11倍)	(1.11倍)	(1.10倍)	(1.34倍)

更に今後、団塊世代が75歳以上(後期高齢者)となる2025年問題が有ります。

他業種との賃金格差などで、介護人材の求職者自体が減少しています。更に職員の高齢化も進みますので良質なサービス提供の維持が難しくなります。



2025年に向けた介護人材に係る需給推計

介護人材の需要見込み(2025年度)	243.0万人
2019年時点需要	211.0万人
必要増員数	32.0万人

介護職員の現状

- 介護職員の年齢構成は、介護職員(施設等)については30~59歳、訪問介護員については40~59歳が主流となっている。
- 男女別に見ると、介護職員(施設等)、訪問介護員いずれも女性の比率が高く、男性については30~49歳が主流であるが、女性については40歳以上の割合が高くなっている。

1 就業形態

	正規職員	非正規職員
介護職員(施設等)	60.2%	39.8%
訪問介護員	30.0%	70.0%

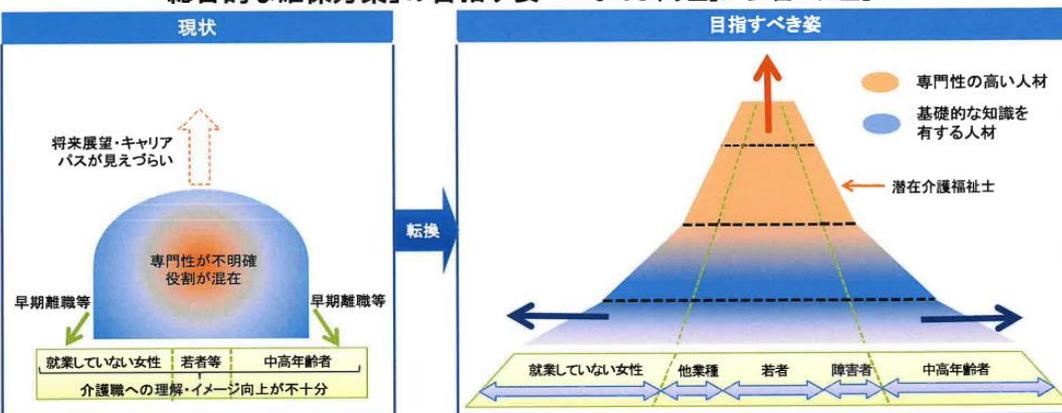
注) 正規職員: 雇用している労働者で雇用期間の定めのない者。非正規職員: 正規職員以外の労働者(契約職員、嘱託職員、パートタイム労働者等)。
注) 介護職員(施設等): 訪問介護以外の指定事業所で働く者。訪問介護員: 訪問介護事業所で働く者。
【出典】平成30年度介護労働実態調査 ((財)介護労働安定センター) 結果より、社会・援護局福祉基盤課福祉人材確保対策室において集計

2 年齢構成(性別・職種別)

	20歳未満	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~64歳	65~69歳	70歳以上
介護職員(施設等)	0.2%	8.3%	19.8%	27.9%	21.4%	7.3%	4.0%	2.0%
男性(23.3%)	0.2%	12.9%	32.0%	32.0%	12.4%	4.7%	2.2%	1.6%
女性(68.4%)	0.3%	7.7%	18.0%	29.7%	26.9%	8.9%	5.1%	2.3%
訪問介護員	0.2%	4.6%	12.9%	22.2%	25.6%	11.9%	7.4%	4.8%
男性(12.6%)	0.5%	8.5%	30.5%	26.9%	17.9%	5.1%	4.9%	2.6%
女性(77.7%)	0.1%	4.6%	11.6%	23.9%	29.8%	14.2%	8.6%	5.7%

注) 調査において無回答のものがあるため、合計しても100%とはならない。
【出典】令和3年度介護労働実態調査 ((財)介護労働安定センター) 結果より、社会・援護局福祉基盤課福祉人材確保対策室において集計。

「総合的な確保方策」の目指す姿 ～「まんじゅう型」から「富士山型」へ～



参加促進	1. すそ野を広げる	人材のすそ野の拡大を進め、多様な人材の参加促進を図る
労働環境・処遇の改善	2. 道を作る	本人の能力や役割分担に応じたキャリアパスを構築する
	3. 長く歩み続ける	いったん介護の仕事についての者の定着促進を図る
資質の向上	4. 山を高くする	専門性の明確化・高度化で、継続的な質の向上を促す
	5. 標高を定める	限られた人材を有効活用するため、機能分化を進める

国・地域の基盤整備

国及び自治体で

- ・人材育成等に取り組む 介護事業者の認証評価制度
- ・介護職員等特定処遇改善加算
- ・介護職員処遇改善支援補助金

等対策を進めていますが、今後、国内での人材調達はますます厳しい状況となります。



資料: 2025年に向けた介護人材にかかる需給推計 確定値 について - 検索 News (bing.com)

育成・就労制度(仮称)から特定技能に至る一貫した人材育成が成果を生む手段になります。課題は、いかに定着率を高めるか！です。

※定着率の高い施設の共通点として…

1. 技能実習の段階から採用して、法人内で育成する。
2. 資格取得を目指し、取得後のインセンティブなどの導入で帰属意識を醸成する。
3. 職場内での家族的な関係性作りを大切にする。 **などの点が挙げられます。**

※特定技能を中心に即戦力を採用する方向は、帰属意識を醸成出来ずむしろコスト高に向かいます。
 ※最初の職場で学んだことや環境が判断の基準となりますので、そこで目標を作り家庭的な関係性ができれば日本人以上に帰属意識が強まります。
 ※就労・育成の段階から採用して内部で育てることが最も成果を生みます。
 次回も引き続きこのテーマで詳しくお伝え致します。



今月の実習生紹介

医療法人 晋真会 ベリタス病院 (兵庫県川西市)

YAMONE LWIN (ヤモン ルイン)さん(ミャンマー出身)



Q:介護実習に応募した動機
 日本で長く働きたいと思った事と、自分の人生に影響を与えてくれるのは介護職と思い応募しました

Q:実習で良かったこと
 患者さんから「ありがとう」と言われた時にこの仕事を選んで良かったと思います。

Q:実習で苦労したこと
 患者さんとどうやってコミュニケーションを取るか最初は不安を感じていました。

Q:日本の生活で良かったこと
 日本のコンビニは、いつでもどこに行っても同じ商品が有り同じサービスをしてくれます。また、電車や地下鉄のシステムが便利で時間に正確なのでとても住みやすいです。

Q:将来の夢
 正直、具体的に決めていませんが、患者さんが元気になるような介護技術を身につけることが今の目標です。

AYE THANDAR SOU（エイ タンダー ソー）さん(ミャンマー出身)



Q:介護実習に応募した動機

高齢者の生活支援に介護職は欠かせない仕事なので日本の介護技術を学んで母国にも活かせると思いました。

Q:実習で良かったこと

上司、先輩、同僚が温かく見守ってくれるので仕事に早く慣れることができました。患者さんの生活を支援する介護職に誇りを 感じています。

Q:実習で苦労したこと

異文化とマナーの違いで最初は苦労しましたが、今は理解できていると思います。

Q:日本の生活で良かったこと

全てが発達している事と、治安が良い事です。

Q:将来の夢

目標の貯金が出来たら帰国して学校を設立したいです。介護職で得た技術と知識を母国で介護職を目指している若い人に教えたいです。

NEW NI HTUN（ニュエ ニ トウン）さん(ミャンマー出身)



Q:介護実習に応募した動機

介護の仕事はコミュニケーションが沢山とれるし、お年寄りが生活しやすくなるお手伝いができるから応募しました。

Q:実習で良かったこと

先輩職員が親切にしてくれて親切に教えてくれます。他の部署の方も暖かく見守ってくれるので嬉しいです。

Q:実習で苦労したこと

最初の頃、毎朝の申し送りなどで専門用語が多く、患者さんと話すときも全てを理解できず苦労しました。

Q:日本の生活で良かったこと

電車の時間が正確で停電も無く、静かでもっとも生活しやすいと思います。

Q:将来の夢

将来は、日本で学んだ言語と技術を活かして介護分野のビジネスをしたいと思っています。

アイブリッジ協同組合 LINE公式アカウント



- ☑ 技能実習生の入国状況
- ☑ 新しい取り組み
- ☑ ミャンマーの国内状況
- ☑ 補助金・助成金制度
- ☑ 実習生の有効活用 などなど



アイブリッジ協同組合

所在地：〒103-0027
東京都中央区日本橋3-13-5 KDX日本橋313ビル9F
TEL：03-6228-4196 FAX:03-6228-4894
URL：<https://www.ibridge.or.jp> mail: info@ibridge.or.jp

